

NSG

GROUP

NSG グループ

2011年3月期 (FY2011) 決算
(2010年4月1日～ 2011年3月31日)

日本板硝子株式会社
2011年5月12日

クレイグ・ネイラー
代表執行役社長兼CEO

マイク・パウエル
グループ・ファイナンス・ディレクター

アジェンダ

- 決算概要
- 戦略的経営計画(SMP)進捗
- 2012年3月期(FY2012)見通し
- まとめ

要点: 2010年4月 – 2011年3月

- 通期業績は、2010年8月5日に発表した業績見通しに沿った結果
- 建築用ガラス事業は、数量回復とコスト削減効果を反映した業績
- 自動車用ガラス事業は、ほとんどの市場で需要堅調により増収増益
- 機能性ガラス事業は、好調な家電市場の恩恵を享受
- 持分法適用会社の業績は堅調
- 東日本大震災による2011年3月期業績への影響は限定的だが、2012年3月期への影響はより大きい
- 戦略的経営計画(SMP)に沿って、2012年3月期を通して利益は改善していく

アジェンダ

- 決算概要
- 戦略的経営計画(SMP)進捗
- 2012年3月期 (FY2012)見通し
- まとめ

連結損益計算書

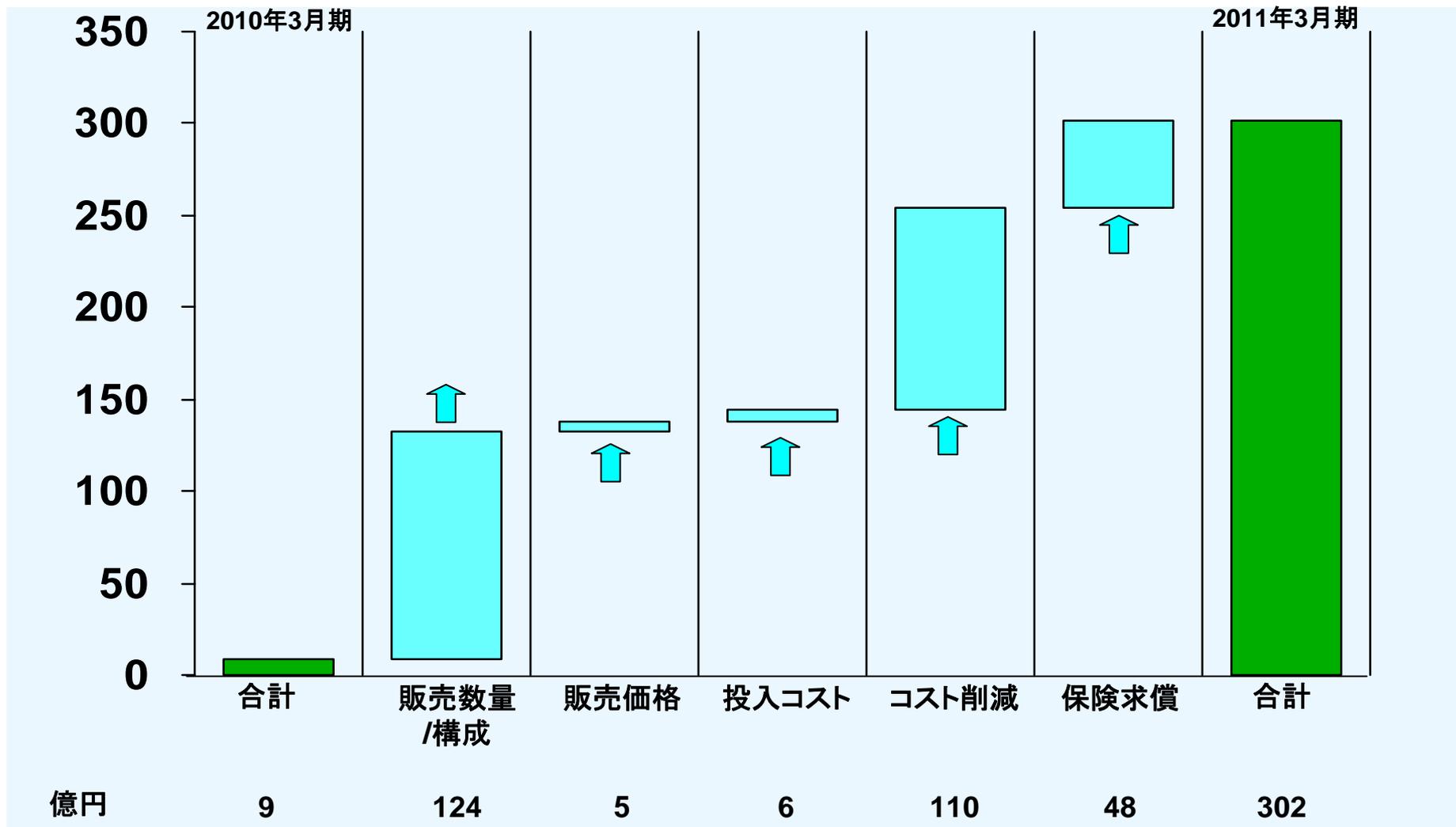
(億円)	11年3月期 通期	10年3月期 通期	前年比
売上高	5,772	5,884	- 2%**
暖簾等償却前営業利益*	302	9	
暖簾等償却費*	(159)	(181)	
営業利益	143	(172)	
営業外損益	(66)	(114)	
経常利益	77	(286)	
特別損益	(43)	(138)	
税前利益	34	(424)	
当期純利益	17	(413)	
EBITDA	625	410	+ 52%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

**為替変動を除くと+6%

3事業部門全てで収益性改善

営業利益差異分析（暖簾等償却前）



数量増およびコスト削減が業績牽引

営業外損益

	11年3月期 通期 (億円)	10年3月期 通期 (億円)
持分法投資損益	81	24
金融収支	(107)	(116)
雑損益	(40)	(22)
合計	(66)	(114)

持分法適用会社の業績改善

連結キャッシュフロー

	11年3月期 通期 (億円)	10年3月期 通期 (億円)
税金等調整前当期純利益	34	(424)
減価償却費及び暖簾償却費	481	573
運転資本の増減	(6)	9
税金等の支払額	(89)	(186)
持分法投資損益	(81)	(24)
その他	(27)	24
営業活動によるキャッシュフロー	312	(28)
固定資産の取得	(299)	(157)
その他	21	98
投資活動によるキャッシュフロー	(278)	(59)
フリーキャッシュフロー	34	(87)

キャッシュ創出を引き続き重視

主要財務指標 (KPI)

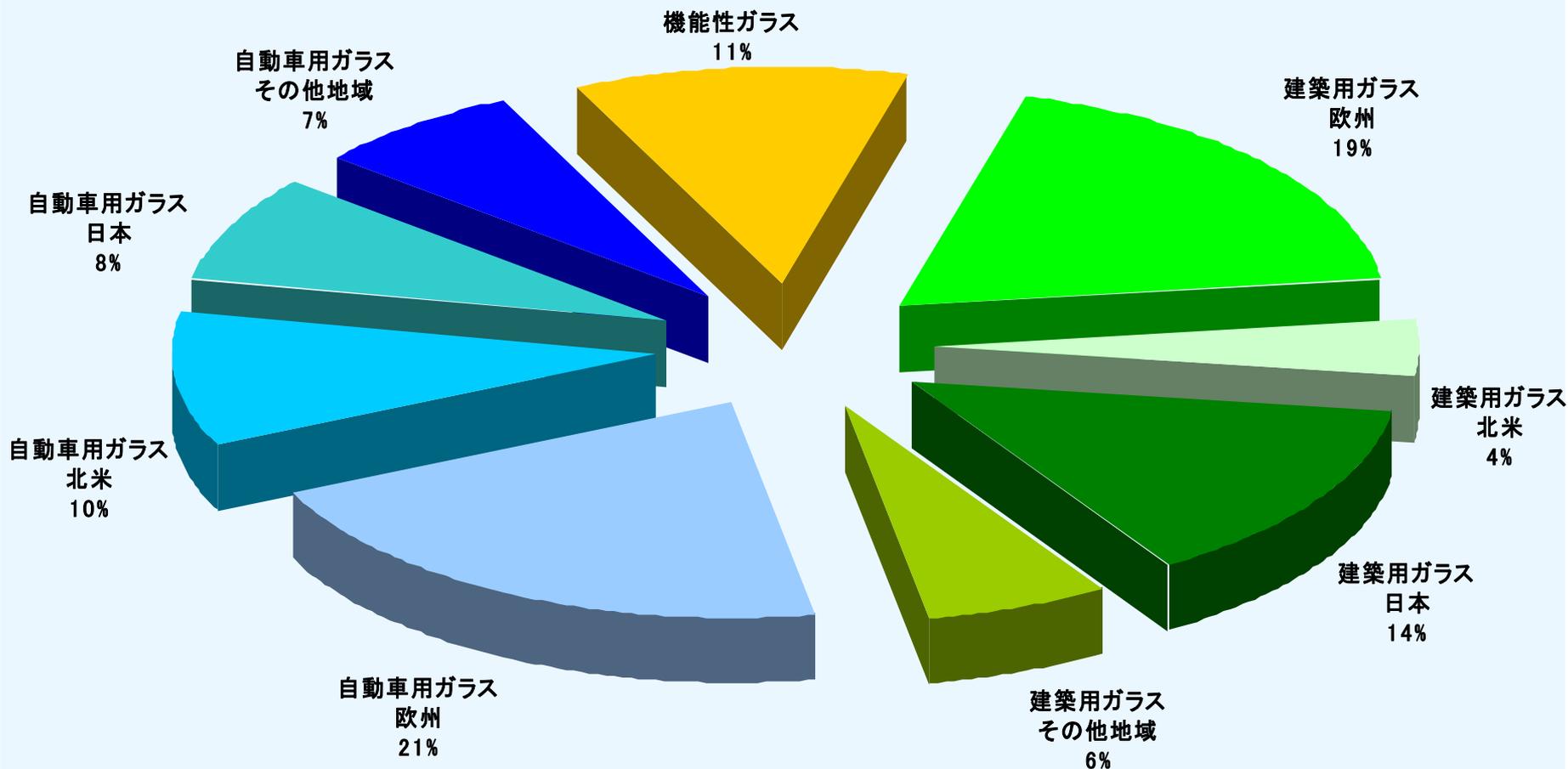
	<u>2011年3月末</u>	<u>2010年3月末</u>
ネット借入(億円)	3,092	3,146
ネット借入/EBITDA	4.9x	7.7x
ネット借入/純資産比率	1.4	1.3
	<u>11年3月期 通期</u>	<u>10年3月期 通期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	5.5x	3.1x
営業利益率*	5.2%	0.2%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

EBITDA改善で財務指標改善

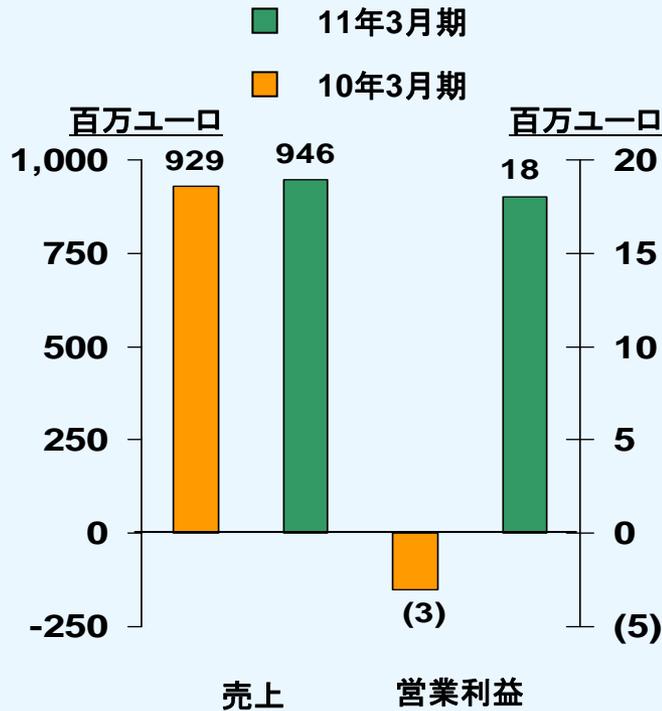
事業別売上高

5,772億円



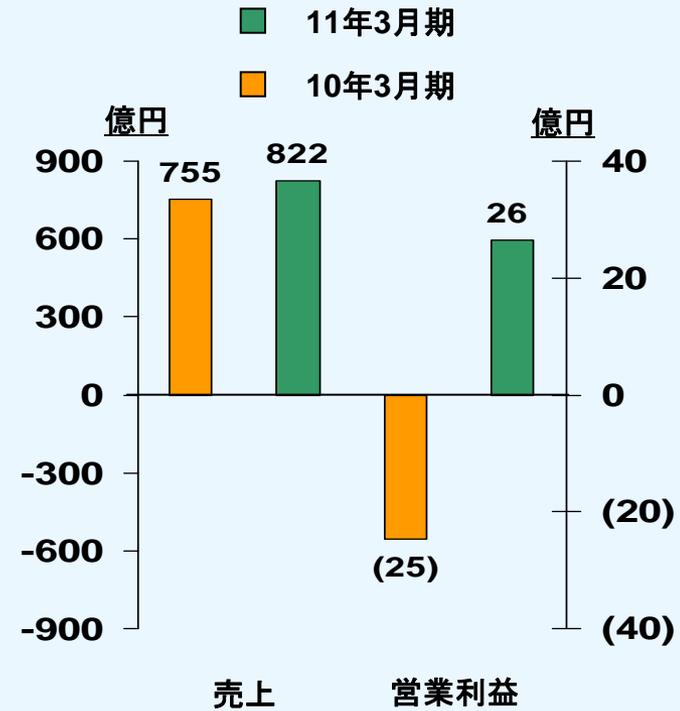
建築用ガラス事業 (10年3月期との比較)

欧州



- フランス/スイスの川下加工事業売却とエンジニアリング売上減を数量増と価格上昇が上回り増収
- 数量増、価格上昇およびコスト削減により増益

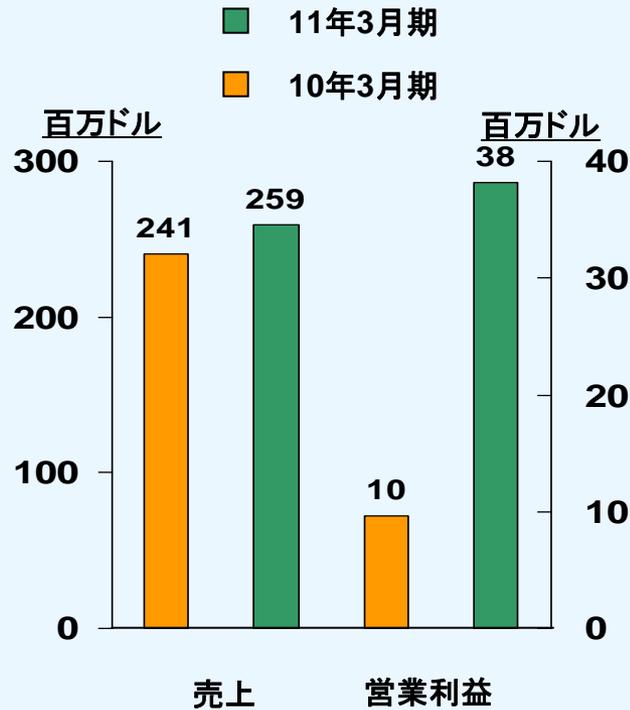
日本



- 高付加価値品の数量増により売上増
- 数量、高付加価値品増およびコスト削減の結果、営業利益増

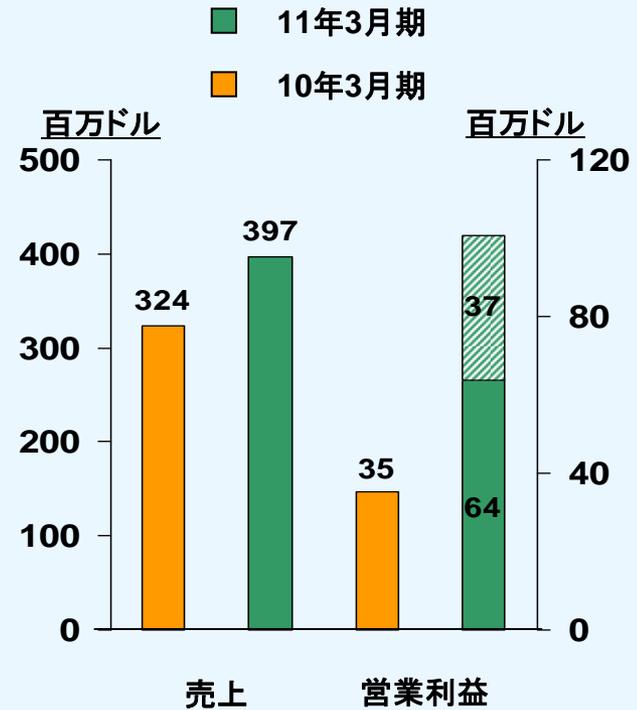
建築用ガラス事業 (10年3月期との比較)

北米



- 高付加価値品の数量増により売上増
- 高付加価値品増とコスト削減の結果、営業利益増

その他地域*

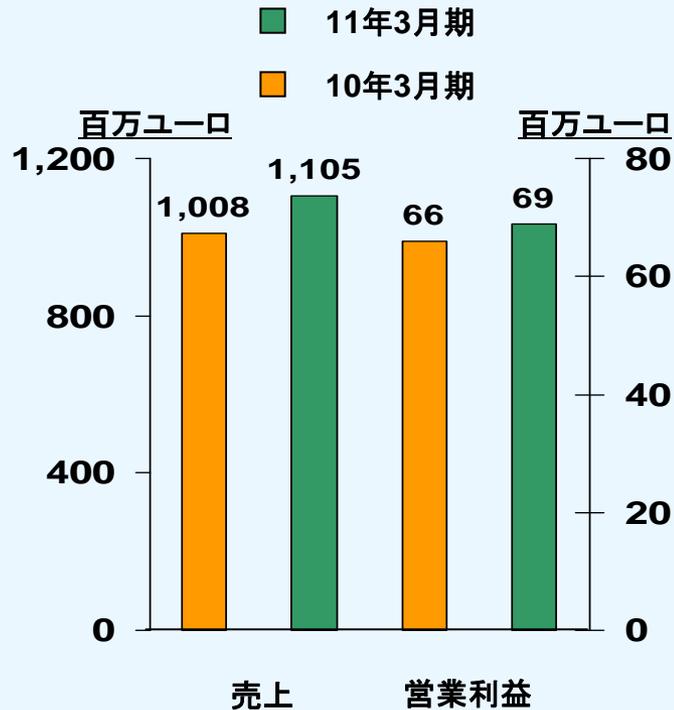


- 価格上昇とソーラー向け型板事業(PST)の連結により、増収増益
- 影付の部分は、一過性のチリの保険金収益

*注: その他地域はアルゼンチン、チリ、中国、マレーシアとベトナム

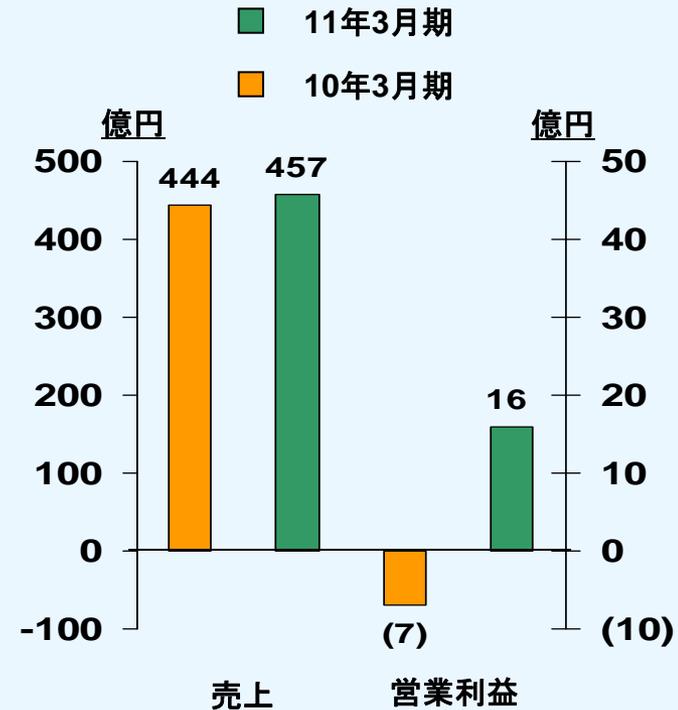
自動車用ガラス事業 (10年3月期との比較)

欧州



- 市場回復と堅調な完成車輸出で新車用(OE)数量が増えた
- 補修用は前年並み
- 原燃材料コスト上昇を内部努力で相殺

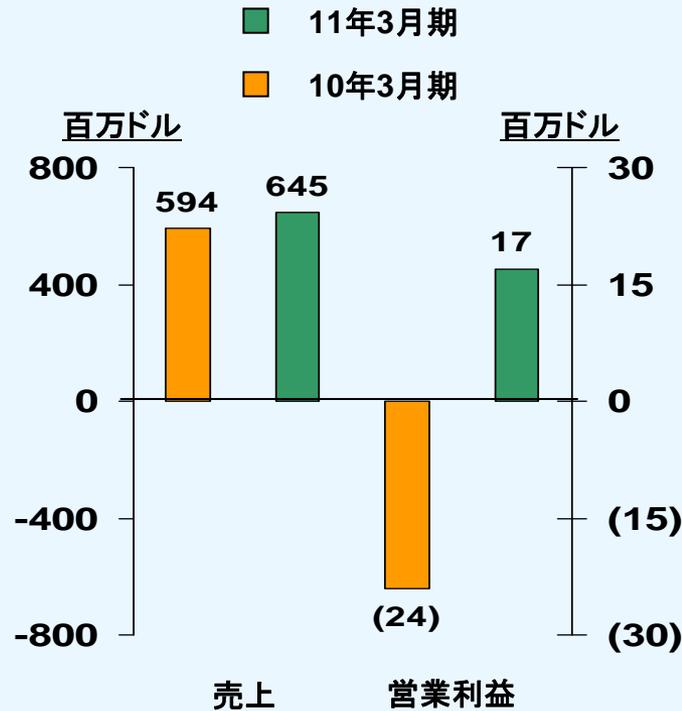
日本



- 需要増と効率改善で増収増益
- 東日本大震災によりOE利益改善に影響
- 補修用は改善継続

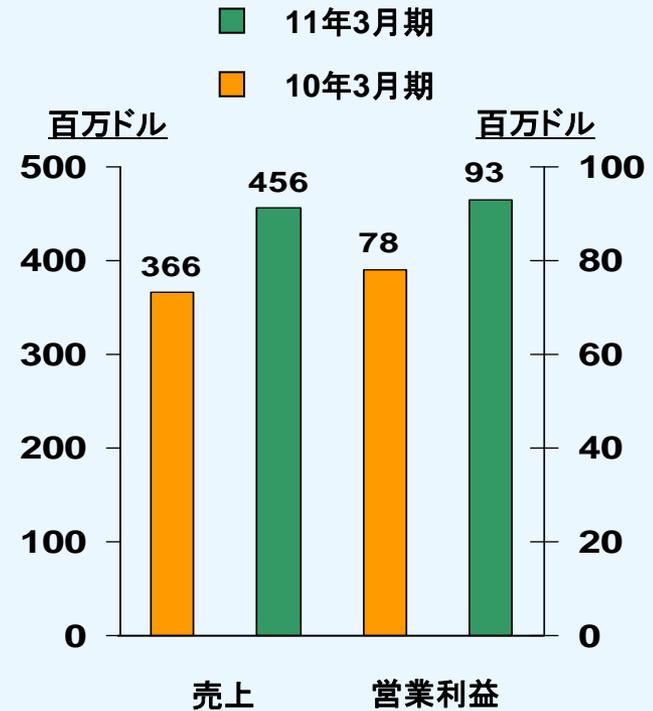
自動車用ガラス事業 (10年3月期との比較)

北米



- OE市場の堅調な回復および補修用数量増により増収増益
- 数量増と効率改善により収益性改善

その他地域*

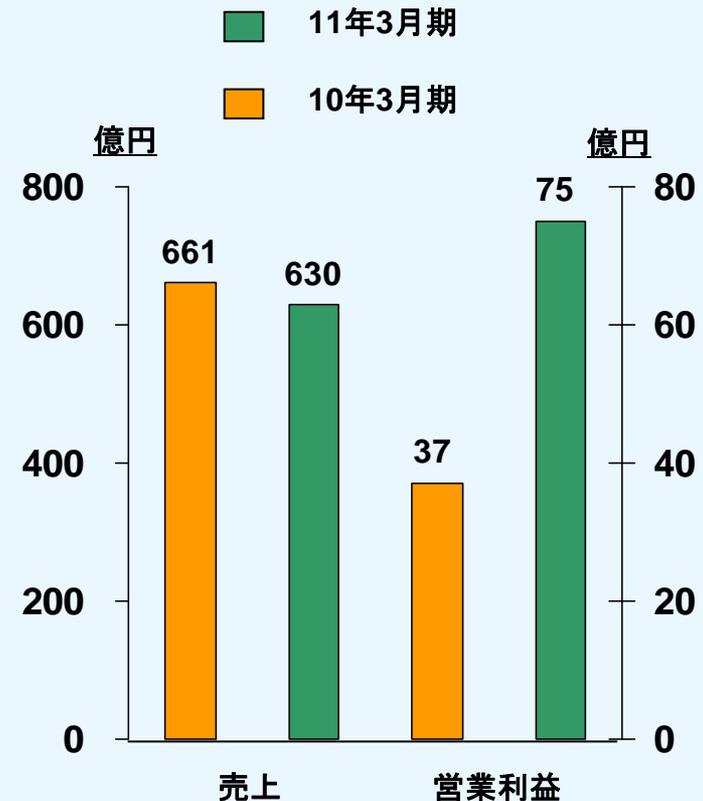


- OEおよび補修用市場は堅調に成長
- 数量増と効率改善が収益を牽引

*注: その他地域はブラジル、アルゼンチン、マレーシアと中国

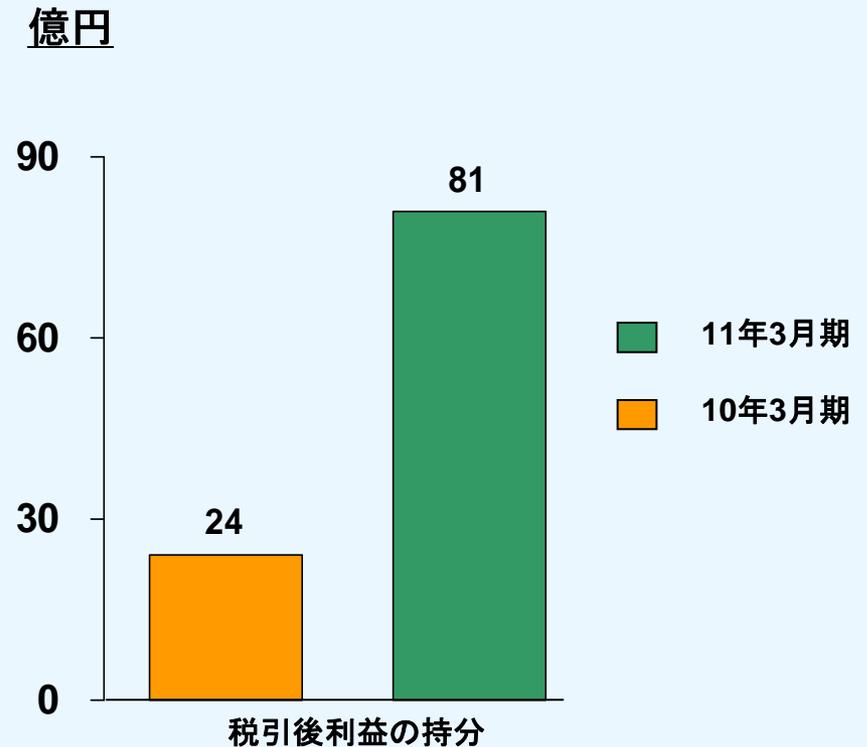
機能性ガラス事業 (10年3月期との比較)

- 機能性ガラス事業製品が関わる市場は堅調に推移し増益
- 消費家電市場が携帯機器向けのタッチパネル需要を引き続き牽引
- プリンター/スキャナー市場は円高の下でも好調継続
- タイミングベルト用ゴムコード売上は欧州の堅調な自動車生産に支えられた



持分法適用会社(10年3月期との比較)

- セブラセの業績は南米市場の堅調さを反映
- 中国およびロシアでの建築用ガラスの合併会社の業績が改善



アジェンダ

- 決算概要
- 戦略的経営計画(SMP)進捗
- 2012年3月期 (FY2012)見通し
- まとめ

戦略的経営計画(SMP)

- 戦略的経営計画(SMP)はNSGグループを次の発展段階へ進める
- グローバルなネットワーク、競争力のあるコストベース、そして環境対応製品やその他の高付加価値製品に対する需要の高まりに答える高い技術力と強いブランド力で、当社グループは優位なポジションにある
- 優先順位の高い事業領域として重視するのは
 - 建築用ガラス事業：ソーラーエネルギー事業、Low-Eガラス、および南米における事業拡大
 - 自動車用ガラス事業：南米、東欧およびメキシコにおける事業拡大
 - 機能性ガラス事業：UFF、SLA® およびバッテリーセパレータ

戦略的経営計画(SMP) - 財務目標

戦略的経営計画(SMP)の財務目標は、国際会計基準(IFRS)ベースでも適切、妥当なものです

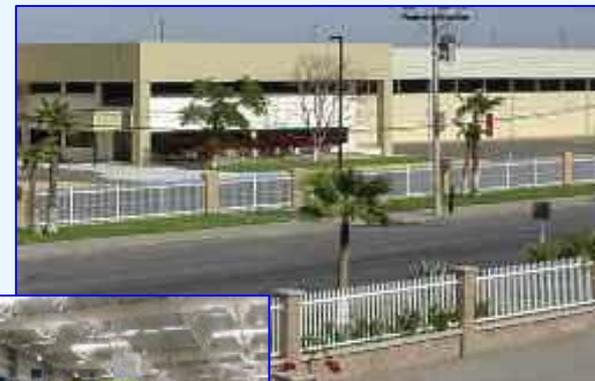
2011年3月期 → 2014年3月期

- 売上 5% CAGR (年平均成長率)
- 営業利益(無形固定資産償却前) 倍以上
- EBITA利益率 5% → >10%
- EBITDA 50% 増以上
- ネット借入/EBITDA 4.5x → <3x
- ROE ゼロ → 10%台前半

戦略的経営計画(SMP)目標へ順調な進捗

戦略的経営計画(SMP)に関する発表

- 2010年11月 – 持分法適用会社によるブラジル北東部での新フロートライン建設計画について
- 2010年12月 – メキシコにおける自動車用ガラス生産能力拡大および向上について
- 2011年1月 – ベトナムにおけるソーラーエネルギー市場向け専用フロートラインについて
- 2011年2月 – 南米における自動車用ガラス生産能力拡大について
- 2011年3月 – ポーランドにおける自動車用ガラス生産能力拡大及び向上について
- 2011年4月 – 英国におけるスパッタコーティング省エネガラスの能力増強について



アジェンダ

- 決算概要
- 戦略的経営計画(SMP)進捗
- 2012年3月期 (FY2012)見通し
- まとめ

東日本大震災の影響

- 2011年3月期業績への影響は、営業利益が7億円減、特別損失が10億円増
- 2012年3月期業績への影響は、一部機能性ガラス事業もあるが主に自動車用ガラス事業で、営業利益60億円の減少を見込む
- 建築用ガラス事業は、フル生産で復興に対応

2011年3月期への影響は限定的、2012年3月期への影響はより大きい

2012年3月期業績予想 (IFRS)

(億円)	2012年3月期見通し (IFRS)			2011年3月期* (IFRS)
	上半期	下半期	通期	
売上高	2,800	3,200	6,000	5,771
無形固定資産償却前営業利益	130	220	350	301
営業利益	90	180	270	225
税引前利益	80	150	230	149
当期利益	70	120	190	154
親会社の所有者に帰属する当期利益	60	120	180	121

*注) 数値は監査されたものではありません。

業績は改善していく

2012年3月期業績予想要点

- 2012年3月期の業績予想は、国際会計基準(IFRS)を適用
- 東日本大震災の影響として、一部機能性ガラス事業もあるが主に自動車用ガラス事業で営業利益60億円の減少を見込む
- 特に年後半から利益は改善
- 数量増のプラス効果によりエネルギーコスト上昇影響を軽減
- 価格転嫁の機会を適切に追求
- 昨年11月に発表した戦略的経営計画(SMP)は、今期以降の当社グループの利益成長の指針

業績は改善していく

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業状況
- 2012年3月期 (FY2012)見通し
- まとめ

まとめ

- 通期業績は、2010年8月5日に発表した業績見通しに沿った結果
- 建築用ガラス事業は、数量回復とコスト削減効果を反映した業績
- 自動車用ガラス事業は、ほとんどの市場で需要堅調により増収増益
- 機能性ガラス事業は、好調な家電市場の恩恵を享受
- 持分法適用会社の業績は堅調
- 東日本大震災による2011年3月期業績への影響は限定的だが、2012年3月期への影響はより大きい
- 戦略的経営計画(SMP)に沿って、2012年3月期を通して利益は改善していく

ご注意

- 当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。
- その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高 (2011年3月期)

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	822	1,067	221	338	2,448
自動車用ガラス	457	1,245	550	388	2,640
機能性ガラス	334	66	10	220	630
その他	51	3	0	0	54
合計	1,664	2,381	781	946	5,772

暖簾等償却前 営業利益 (2011年3月期)

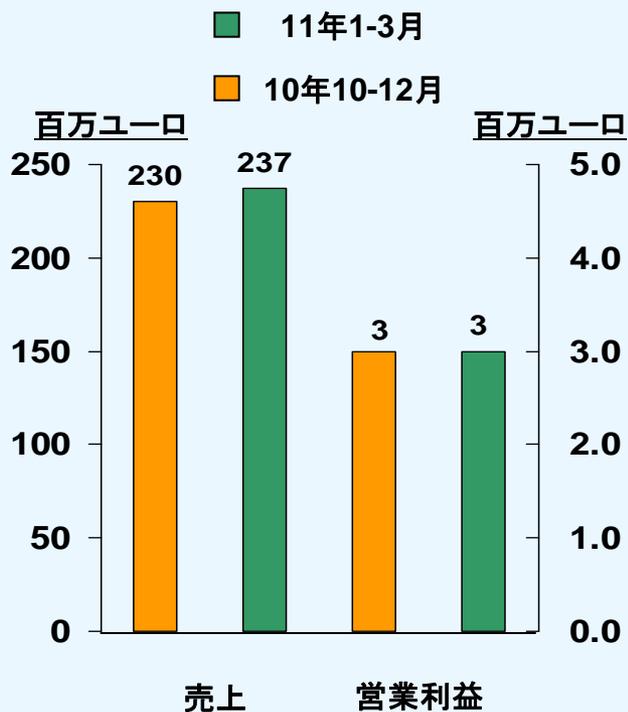
(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	26	20	33	86	165	7%
自動車用ガラス	16	78	14	79	187	7%
機能性ガラス	63	5	1	6	75	12%
その他	(35)	(66)	(24)	0	(125)	
合計	70	37	24	171	302	5%
営業利益率	4%	2%	3%	18%	5%	

暖簾等償却後 営業利益 (2011年3月期)

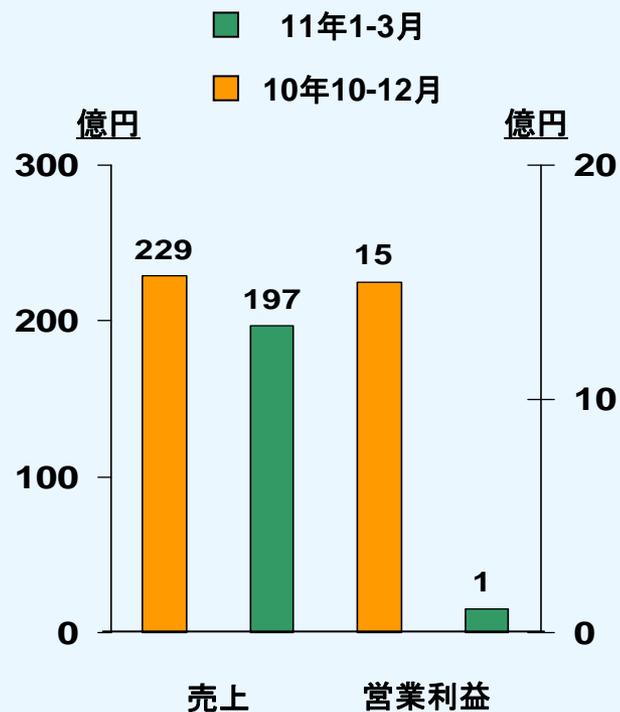
(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	26	20	33	86	165	7%
自動車用ガラス	16	78	14	79	187	7%
機能性ガラス	63	5	1	6	75	12%
その他	(35)	(172)	(52)	(25)	(284)	
合計	70	(69)	(4)	146	143	2%
営業利益率	4%	-3%	-1%	15%	2%	

建築用ガラス事業 (四半期比較: 2010年10-12月と2011年1-3月)

欧州

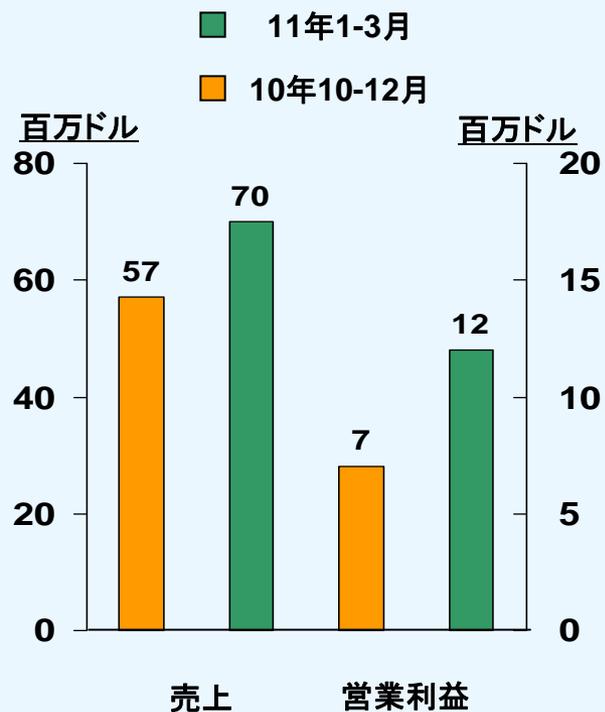


日本

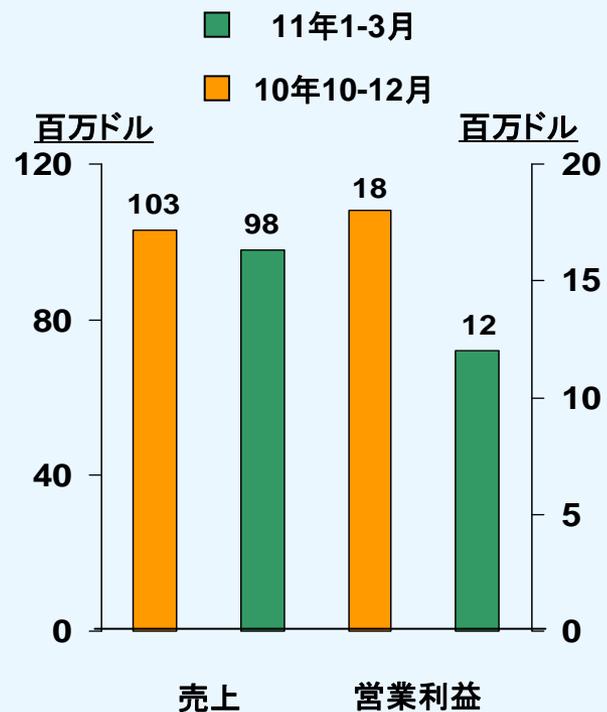


建築用ガラス事業 (四半期比較: 2010年10-12月と2011年1-3月)

北米



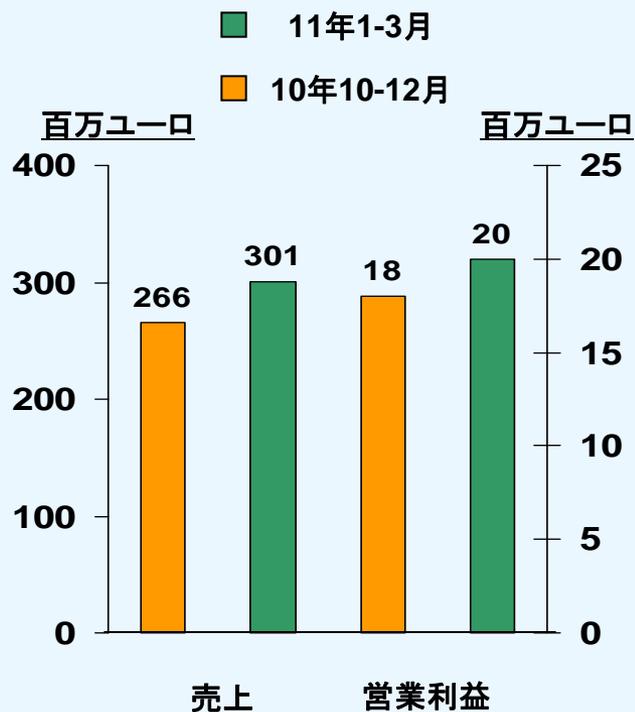
その他地域*



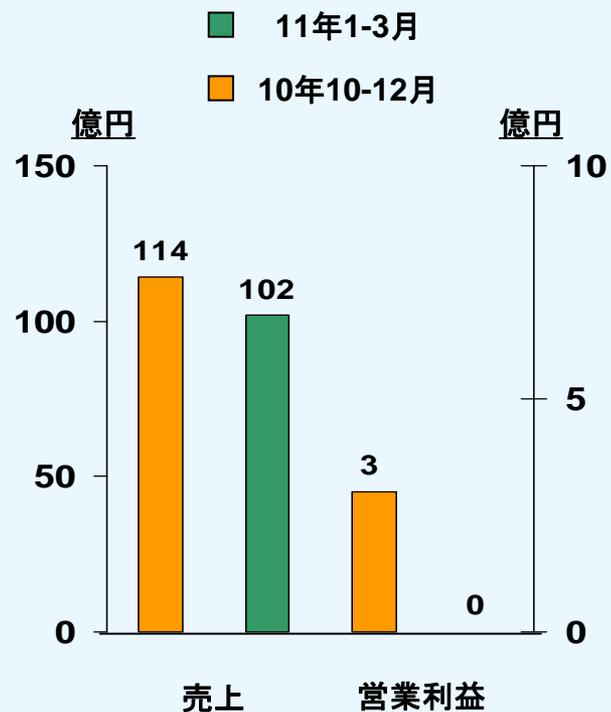
*注: その他地域はアルゼンチン、チリ、中国、マレーシアとベトナム

自動車用ガラス事業 (四半期比較:2010年10-12月と2011年1-3月)

欧州

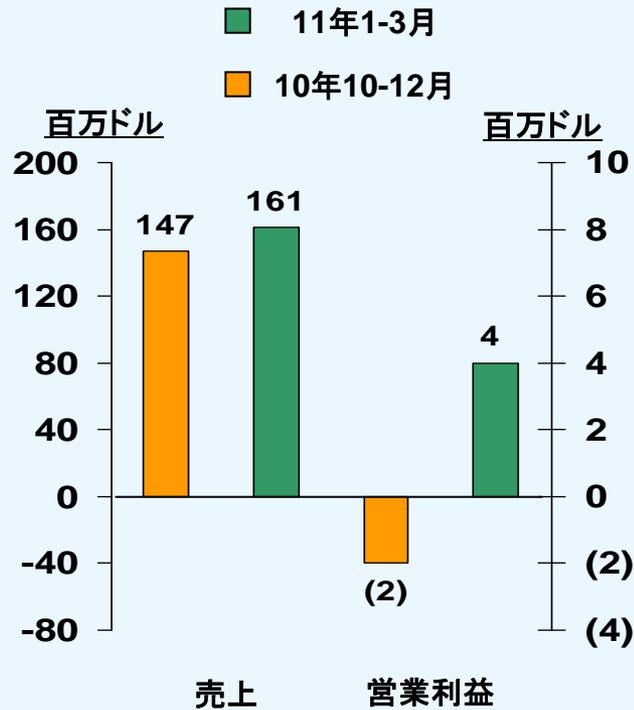


日本

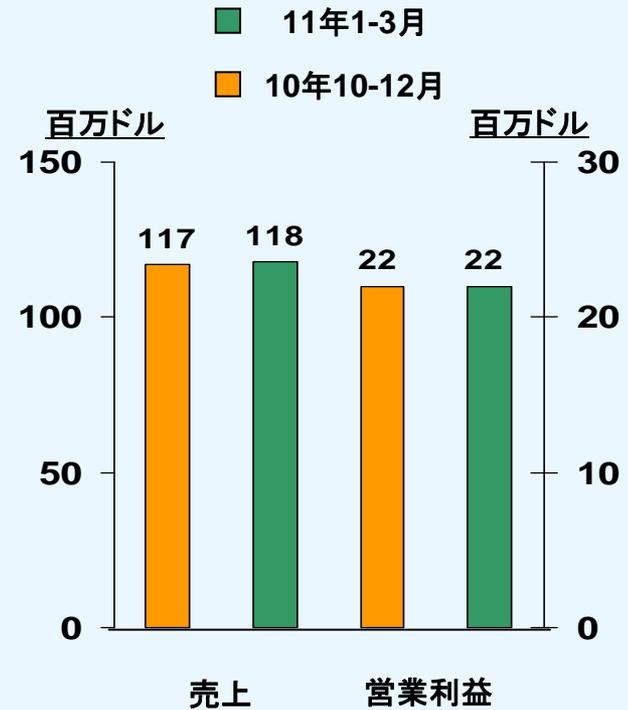


自動車用ガラス事業 (四半期比較:2010年10-12月と2011年1-3月)

北米

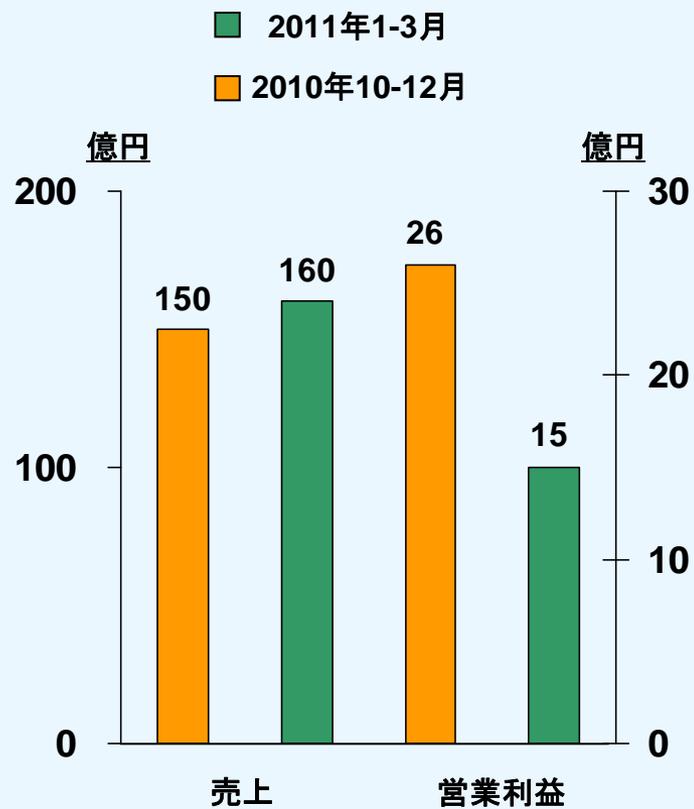


その他地域*



*注: その他地域はブラジル、アルゼンチン、マレーシアと中国

機能性ガラス事業 (四半期比較: 2010年10-12月と2011年1-3月)



前提

	11年3月期 第4四半期	10年3月期 第4四半期	12年3月期 通期予想
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	133	148	130
円/ユーロ	113	131	115
円/米ドル	85	93	85
期末為替レート:			
円/英ポンド	134	140	
円/ユーロ	117	125	
円/米ドル	83	93	
重油(米ドル)			100

NSG

GROUP